

科目名 (英)	プロフェッショナルへの道Ⅲ Career DevelopmentⅢ	年次	2	実務経験	担当	仁藤都
		授業形態	講義			
		時間数	30	開講区分	前期	
学科・コース	ヘアメイク科	単位	2			曜日・時間
講師紹介	美容業界に従事してきた講師が、就職活動に向けコミュニケーションスキルや社会人に必要な知識を習得する授業を行う。自身が身に付けた美容業界で必要とされるための知識・コミュニケーション力の発揮の仕方などをお伝えします。					
目的 科目概要	目的:グループワークや個人ワークでの自己分析、チームで働くことの大切さを学び社会人基礎力に必要な3つの能力【前に踏み出す力】【考え抜く力】【チームで働く力】を身に付ける。					
到達目標	①自己発見を行い、希望就職先へ内定できるようになる。 ②笑顔であいさつができるようになり、接客に必要な身構え・気構え・心構えを身につける。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 □ 実技試験 □ 作品					
教科書			事前事後 学習と その内容			
教材	スケジュール帳・筆記用具					
特記事項						

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	他己紹介	2人1組。相手をよく知り、クラスの仲間に紹介することでより良いクラス作りをする
2	就職対策	就職活動の基礎を知り、希望就職先を見つけることができる
3	就職対策	履歴書の重要性を知り、ライバルに勝てる履歴書が書けるようになる
4	TOPサロンゼミ	業界のプロから技術やマインドを学び将来像を明確にすることができる
5	就職対策	面接の基本やポイントを知り、面接で自信を持てるようになる
6	就職対策	グループディスカッションで社会人基礎力【考える力】を身につける
7	中間試験	企業側の目線に立ち、『どのような人材が求めているか』を考えてまとめる 800文字以内
8	TOPサロンゼミ	業界のプロから技術やマインドを学び将来像を明確にすることができる
9	卒業制作①	クラスで目標を決め自分の役割を知り、主体性を持って行動することができる
10	卒業制作②	作品イメージを具体的にし、完成形を全員で共有できる
11	TOPサロンゼミ	業界のプロから技術やマインドを学び将来像を明確にすることができる
12	卒業制作③	感性を磨き、頭の中の引き出しを増やす
13	卒業制作④	頭の中のデザインを描きだし、形にすることができる
14	定期試験	企業側の目線に立ち、『どのような人材が求めているか』を考えてまとめる 800文字以内
15	定期試験振り返り	14回で考えたことを全体で共有する。5年後、10年後のビジョンについて考える

科目名 (英)	ビューティ技術論Ⅲ Beauty technicalⅢ	年次	2	実務経験	担当	小泉哲郎
		授業形態	講義			
		時間数	30			
学科・コース	ヘアメイク科	単位	2	開講区分	前期	
				曜日・時間	4月～8月	
講師紹介	美容業界に従事してきた講師が、就職活動に向けコミュニケーションスキルや社会人に必要な知識を習得する授業を行う。自身が身に付けた美容業界で必要とされるための知識・コミュニケーション力の発揮の仕方などをお伝えします。					
目的 科目概要	目的:仕事の現場で必要とされるアイデア力、コミュニケーション能力を学ぶ。 概要:この科目では卒業制作に向けてチームの中で様々な意見を出し合い、各々のテーマに沿った作品を創りあげ今後の職業人生活により良い影響を与える授業にする。					
到達目標	授業で学んだ技術、知識を応用することができる。 他者と一つの目的に向けて自分の意見を出し合う事ができる。 集団の中で自分の役割を認識し、達成に向けて各々が能力を発揮する事ができる。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 <input type="checkbox"/> 筆記試験 <input type="checkbox"/> 実技試験 <input checked="" type="checkbox"/> 作品					
教科書						
教材	適宜紹介する。	事前事後 学習と その内容	テーマに沿ったヘアメイクを創るので普段から様々な雑誌や映画などを観てアイデアの収集に努めて下さい。			
特記事項	作品創りに必要な資料及び材料は授業に持ってきて頂いて構いません。					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	
1	チームテーマ議論	チームのテーマを決める。及び役割分担や今後のスケジュールを確認する。
2	デザイン制作	昨年度のショーなどを振り返り、新しいデザインを模索する。
3	デザイン制作2	チーム内での意見交換を行い、デザインの精査を行う。
4	デザイン決定	デザインを決定し、衣装や小物などの服飾品のイメージを考える。
5	ヘアメイク練習	デザインに沿ったヘアメイクをし、改善点を考える。
6	ヘアメイク練習2	改善点を元にデザインのブラッシュアップを行う。衣装などの制作も行う。
7	チーム内発表	全体の最終的なチェックをしていく。舞台での動き方や音響、照明とのすり合わせを行う。
8	定期試験	定期試験
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

科目名 (英)	特殊メイク I Special Effect Make up I	年次	2	実務経験	担当	大和田一樹
		授業形態	演習			
		時間数	60	有	開講区分	
学科・コース	ヘアメイク科	単位	4		曜日・時間	1組(火1・2限)2組(木1・2限)3組(金1・2限)
講師紹介	メイクアップアーティストとしてスチール、ショーのメイクアップ、またメイクアップディレクターとして化粧品の開発・プロデュース・メイクセミナーの講師、自らTV出演など化粧品とメイクアップに関する様々な業務を歴任してきました。ここではヘアメイクに必要な特殊メイクに関する専門的な技術を習得する授業を行います。					
目的 科目概要	目的:ヘアメイクとして幅広いメイクアップの表現力を身につける。 科目概要:TV・映画で必要な特殊なメイクを学ぶ、クリエイティブなメイク表現を学ぶ。					
到達目標	TV・映画で必要な特殊なメイクを習得できる。、クリエイティブなメイク表現を理解することができる。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 <input type="checkbox"/> 筆記試験 <input checked="" type="checkbox"/> 実技試験 <input type="checkbox"/> 作品					
教科書	適宜参考画像など資料用意します。		事前事後 学習と その内容	前もって参考になる画像などをリサーチしておくこと。手順が特殊なので何度か実践しつつでも再現できるようにしておくこと。		
教材	メイク教材と学校準備の共有教材					
特記事項	手順が特殊なのでしっかりとメモを取る。					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	皮膚状態の再現/汚しメイク	ソバカス ニキビ クマ 蒼白 蕁麻疹/発汗 泥はね 油汚れ 煤汚れ
2	老けメイク	くすみ シミ 小ジワ 大ジワ たるみ コケ 白髪 老化を表現する
3	あざメイク/火傷メイク	アザ初日 アザ2日目 アザ4日目/Ⅰ度熱傷(日焼けや軽症の火傷) Ⅱ度熱傷(水ぶくれ) Ⅲ度熱傷(重症)
4	傷メイク/傷ワックスの応用	擦過傷(軽いすり傷) 挫創(打撃・圧迫による皮膚断裂) 切創(切り傷) 裂傷(裂け傷) 刺創(刺し傷) 銃創(銃撃された傷)/つけ鼻 鼻曲がり ズレ指
5	死人メイク/縫合メイク	死後10数時間程度の死人の顔/細めの糸～太めの紐まで使って縫合したように見せる表現
6	ゾンビメイク	老け 痣 火傷 傷 死人メイクの応用でゾンビを表現する
7	中間試験	ゾンビメイクを時間内に仕上げる(20点)
8	メイクで再現①	殴られた人の顔(アザ+裂傷+鼻曲がりの組み合わせ)/転倒した時の顔(アザ+擦過傷の組み合わせ)
9	メイクで再現②	刺殺された人の顔(刺創+死人の組み合わせ)/銃殺された人の顔(銃創+死人の組み合わせ)
10	メイクで再現③	爆撃を逃れた人の顔(汗+煤汚れ+火傷の組み合わせ)/原因不明の皮膚疾患の部位(挫創や蕁麻疹の組み合わせ)
11	怨霊メイク	ゾンビメイクとは違うおぞましさを表現
12	外ウメイク	洋風の刺青を再現
13	刺青メイク	和風の刺青を再現
14	ハロウィーンメイク	新しい発想やささまざまな要素を組み合わせ
15	定期試験	ハロウィーンメイクを限られた時間内で仕上げる(50点)

科目名 (英)	フェイシャルエステ Facial Esthetics	年次	2	実務経験	担当	山田優子
		授業形態	演習			
		時間数	60	有	開講区分	
学科・コース	ヘアメイク科	単位	4		曜日・時間	1組(木1・2限)2組(金3・4限)3組(金1・2限)
講師紹介	エステティシャンとして、約20年間、フェイシャルケア、ボディケア等様々な美容サービスを提供してきました。また美容専門学校においては現場経験を踏まえながら心身を癒し、美肌やボディラインを整える為のノウハウをお伝えしています。この授業では美容家として社会で活躍する際にそれぞれの職業で役立つ知識、技術、またご自身の身体に行えるセルフケアの方法をお伝えしていきます。					
目的 科目概要	お客様を癒し、美しく健康を維持する為に必要な基礎知識、技術及び接客マナーを習得する。お客様からの信頼を得る為のコツやポイントを学ぶ。					
到達目標	フェイシャルエステにおける、クレンジングからフェイシャルマッサージまでの一連のトリートメントを習得する。認定フェイシャルエステティシャンを取得する為の知識と技術を習得する。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることが ■ 筆記試験 □ 実技試験 □ 作品					
教科書	AJESTHE.認定フェイシャルエステティシャン理論と技術	事前事後 学習と その内容	シラバスを参考に、毎回の授業概要と到達目標を理解して授業に参加すること。			
教材	適宜指示					
特記事項	毎授業においてメモをとる事					

授業計画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	エステティックとは/フェイシャルトリートメントの基礎知識	エステティックに関する基礎知識を学ぶ。フェイシャルエステティックに必要なセッティング及び、清掃、消毒法を学ぶ。肩のマッサージの技術を習得する。
2	ホメオスタシスとストレス/クレンジング	ホメオスタシスとストレスについて学ぶ。接客における気配りやフェイシャルクレンジングの技術を習得する。
3	身体のしくみと働き①/ホットタオル拭き取り	身体のしくみや働き、フェイシャルエステティックに必要な筋肉やリンパ系について学ぶ。フェイシャルエステティックのスチームタオル拭き取りの技術を習得する。
4	身体のしくみと働き②/クレンジングの復習	血液やリンパの流れ、自律神経などの身体の仕組みを理解し、より効果的なトリートメントの仕方を学ぶ。フェイシャルクレンジングの一連の流れを習得する。
5	皮膚のしくみと働き①/ローションパック	皮膚のしくみと美容に大切な皮膚の働きについて学ぶ。ローションパックの技術を習得する。
6	皮膚のしくみと働き②/クレンジング技術 チェック	様々な皮膚状態とお手入れのポイントについて学ぶ。睡眠や運動が皮膚へ及ぼす影響について学ぶ。フェイシャルクレンジングの技術力を確認する。
7	中間試験	6回までの講義の理解度を確認する。/フットリフレクソロジー
8	カウンセリングとは/フェイシャルマッサージ	エステティックカウンセリングの基礎手法と、お客様との信頼関係を構築する上で重要なポイントを学ぶ。フェイシャルマッサージの技術を習得する。
9	化粧品の種類と働き/フェイシャルマッサージ	フェイシャル化粧品の特徴、種類、原料、使用上の注意事項を学ぶ。フェイシャルマッサージの技術を習得する。
10	栄養の知識/フェイシャルマッサージ	健康や美容を維持する為に必要となる基礎知識を学ぶ。フェイシャルマッサージの技術を習得する。
11	衛生と消毒/フェイシャルマッサージ技術 チェック	エステティシャンとして適切な衛生環境を維持する為の具体的な衛生設置や消毒方法について学ぶ。フェイシャルマッサージの技術力を確認する。
12	皮膚のしくみと働き③/ハンドマッサージ	ストレスと肌への影響、エイジングケアについて学ぶ。ハンドマッサージの技術を習得する。
13	皮膚のしくみと働き④/フットマッサージ	肌タイプの見極め方と、お手入れ方法について学ぶ。フットマッサージの技術を習得する。
14	エステティックの基礎知識/フットマッサージ	エステティシャンとしてのホスピタリティマインドを理解し、サービスを提供する際に意識するポイントや身体の使い方、基本姿勢について学ぶ。フットマッサージの技術を習得する。
15	期末試験	8～14回までの講義の理解度を確認する。/リンパフェイシャルケア

科目名 (英)	スチールヘアメイク I Still Hair Make I	年次	2	実務経験	担当	松尾友湖/大内季奈
		授業形態	演習			
		時間数	60	有	開講区分	
学科・コース	ヘアメイク科	単位	4		曜日・時間	1組(火1・2限)2組(月1・2限)3組(月3・4限)
講師紹介	ゴールドシップ所属。教員としても長いキャリアを持つ為、分かりやすくレクチャーするので積極的に学んでほしい。					
目的 科目概要	年代別の歴史やトレンドを学び、テーマ合わせたファッションやヘアメイクのリバイバルについて考える。					
到達目標	各時代背景とファッションやメイクとの関連性を理解したうえで、年代別のトレンドを習得し、撮影を伴う作品としての制作を意識する。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 □ 実技試験 □ 作品					
教科書			事前事後 学習と その内容			
教材	プリント配布					
特記事項	なし					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	メイクの歴史	古代～現在までの国内外の時代背景に伴うメイク歴史について
2	1920年代トレンド	20年代(グretaガルボやマレーネデートリッヒ)をベースとしたデザイン&実技
3	1950年代トレンド①	50年代(オードリーヘップバーン)をベースとしたデザイン&実技
4	古代～中世	古代～中世をベースとしたデザイン考案
5	古代～中世	考案したデザインを元にヘアメイク実習
6	中間試験対策	フォトグラファーによる作品撮り①
7	中間試験	フォトグラファーによる作品撮り②
8	1950年代トレンド②	50年代(マリリンモンロー)をベースとしたデザイン&実技
9	1960年代トレンド	60年代(ツイッギーやボルドー)をベースとしたデザイン&実技
10	1980年代トレンド	80年代をベースとしたデザイン&実技
11	1990年代トレンド	90年代をベースとしたデザイン&実技
12	2000～2020年代(現代)トレンド	2000～2020年代(現代)トレンドをベースとしたデザイン考案
13	2000～2020年代(現代)トレンド	考案したデザインを元にヘアメイク実習
14	定期試験対策	フォトグラファーによる作品撮り①
15	定期試験	フォトグラファーによる作品撮り②

科目名 (英)	ブライダル総合 General Bridal	年次	2年	実務経験	担当	川戸有子/藤井明花
		授業形態	演習			
		時間数	60	有	開講区分	
学科・コース	ヘアメイク科	単位	2		曜日・時間	1組(月1・2限)2組(水3・4限)3組(水1・2限)
講師紹介	H29 東京ベルエポック美容師科通信課程を修了し、現在はまつ毛エクステ、エステ技術者・経営をしております。卒業した母校で講師として携われる事がとてもやりがいを感じます。ブライダルの前撮りスタジオで、ヘアメイク、着付け、衣装提案、フィッティング全てを担当。現在はブライダル以外にも宣材写真や婚活写真の撮影などの活動をしている。					
目的 科目概要	近年、まつ毛エクステーションは多くの女性に人気を集めるようになりました。まつ毛エクステーションは、地まつ毛に装着するので危険が伴います。そのため、アイリストとして確かな知識や技術が必要です。私も日々細心の注意を心がけております。安心・安全を第一とする技術者としての自覚や心構えを学んでもらいたいです。様々な要素を総合的に判断し、理論的で花嫁様にとって最適な提案ができるようになる。					
到達目標	まつ毛エクステーション施術について、安全・衛生面の重要性とともに基本知識・技術を習得する。カウンセリング・デザインからエクステーション装着をマネキンを利用して施術を行う。安全に丁寧に美しく仕上げることができる。 衣装×小物×会場のトータルバランスを考慮したヘアメイク提案ができる。(和装洋装)					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 ■ 実技試験 ■ 作品					
教科書						事前事後 学習と その内容
教材	プリント(補助教材)初回時に配ります。 ヘアメイク道具一式、筆記用具					
特記事項	授業で必ず必要な物 筆記用具・タオル2枚・ツイーザー2本・付けまつ毛・小さいビニール袋					
授 業 計 画						
回数	授業テーマ	授業内容				
1	まつ毛エクステーションとは	左右のツイーザーに慣れ、まつ毛をかき分ける。まつ毛をツイーザーの間に1本入れる				
2	カウンセリングについて	まつ毛クレンジング～エアブローのかけ方。エクステーションを練習用のペーパーに装着する				
3	まつ毛の構造と毛周期について	マネキンにエクステーションを装着する				
4	まつ毛エクステーションのデザインについて	まつ毛エクステーションのデザイン(キュートライン)				
5	まつ毛エクステーションの施術の流れ	まつ毛エクステーションのデザイン(セクシーライン)				
6	まつ毛エクステーションのトレーニング	まつ毛エクステーションのデザイン(カラーエクステ)				
7	定期試験(筆記・実技)	まつ毛エクステーション施術の安心・重要性を理解し、エクステーションを丁寧に美しく仕上げる				
8	ブライダル基礎知識	婚礼の歴史、衣装の歴史、会場の種類別似合うドレス・ヘアメイク				
9	洋装メイク	ナチュラル&キュート系メイク				
10	洋装メイク	クラシカル&エレガント系メイク				
11	洋装ヘア	クラシカルアップ、ボリュームポニーテール				
12	和装ヘア	シニヨン、逆毛の入れ方、面の整え方				
13	和装メイク	和装メイクのポイント、カツラの時のメイク				
14	期末試験準備	デッサンシート作成、相モデル練習、改善点を見つけブラッシュアップ				
15	期末試験	相モデル実践、デッサンシート提出				

科目名 (英)	ブライダル総合	年次	2年次	実務経験	担当	五十嵐 倫子
		授業形態	演習			
	General Brida	時間数	30	有	開講区分	前期
学科・コース	ヘアメイク科	単位	2		曜日・時間	1組(水3限)2組(水2限)3組(水4限)
講師紹介	大手花企業にて、企画から販売まで多岐にわたり勤務。後、フラワースタ일리スト、カラーコーディネーター、カウンセラー、専門学校講師として、長きにわたり、多岐にわたるシーン、さまざまなお客様に、花、色、カウンセリングをご提案、ご提供してきました。					
目的 科目概要	テイストイメージ分析により、ブライダル装花アイテムの確認と理解。ブライダルによく使われる花、と花言葉の知識					
到達目標	テイストイメージ分析、ブライダル装花アイテムの確認と理解。ブライダルによく使われる花、と花言葉、フーケフォルムの知識の習得。テイストイメージに合った装花の制作、分析した観点から発表ができる					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 ■ 実技試験 □ 作品					
教科書	なし			事前事後 学習と その内容	毎回ノートをとること 理解と実践	
教材	プリント					
特記事項						

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	テイストイメージ分析/【花の名前&花言葉】	色、形、素材、大きさ、言葉により、テイストを分析するための特徴を掴む グループ分け
2	ブライダルブーケの由来・ブーケの形/【花の名前&花言葉】	ブーケの由来、形を知る。形によりテイストイメージを分析する
3	装花の種類/【花の名前&花言葉】	装花アイテムにはどのようなものがあるか知り、テイストイメージを分析する
4	グループごとにテイスト分析のカラーージュの作成 /【花の名前&花言葉】	装花アイテムのカラーージュをグループごとに作成する
5	カラーージュ発表/【花の名前&花言葉】	そのテイストとして選ばれた理由を発表する
6	テイストカラーージュに合った装花企画 /【花の名前&花言葉】	既存のブーケ、ブトニア、ヘッドドレス、+アルファの商品を予算内で選ぶ→発注表を記入
7	中間テスト	花の名前と花言葉
8	ループリボン作成/【ブーケフォルム名】	ブーケに使用するループリボンを作成 ワイヤリング、テーピングができるようになる
9	装花作成①/【ブーケフォルム名】	テイストにあったブーケ、ブトニア、ヘッドドレスをグループごとに作成
10	装花作成②/【ブーケフォルム名】	テイストにあったブーケ、ブトニア、ヘッドドレスをグループごとに作成
11	装花作成③/【ブーケフォルム名】	テイストにあったブーケ、ブトニア、ヘッドドレスをグループごとに作成 完成
12	装花に合うヘアメイクとドレス	作成した装花とコーディネートし、撮影
13	生花の水あげ方法	生花を生き生きとさせたり、復活させる水揚げ方法を学ぶ
14	生花のヘッドドレス作成	先週学んだ方法で水揚げし、ワイヤリング、テーピングし、ヘッドコサージュを創る
15	期末テスト・フィードバック	花の名前と花言葉 ブーケフォルム名

科目名 (英)	ヘアメイクⅡ Hair Make Ⅱ	年次	2	実務経験	担当	足立祐希
		授業形態	演習			
		時間数	60	有	開講区分	
学科・コース	ヘアメイク科	単位	4		曜日・時間	1組(月3.4限)2組(木1.2限)3組(火1.2限)
講師紹介	雑誌、広告媒体の仕事を多くこなす現役ヘアメイクアップアーティストによる現場実践型の授業を行います。					
目的 科目概要	様々なスタイルのバリエーションを習得し、幅広いジャンルのヘアセットや現場に対応出来るようになる。					
到達目標	現場で必要なルーズスタイルをはじめ、高い技術が求められる盛り髪ヘアの技術を習得する					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 <input type="checkbox"/> 筆記試験 <input checked="" type="checkbox"/> 実技試験 <input type="checkbox"/> 作品					
教科書	なし		事前事後 学習と その内容	授業時は必ずメモをとり、必ず復習をすること。		
教材	ヘア道具一式					
特記事項	授業時はエプロンを着用のこと					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	カジュアルルーズお団子ヘア	カジュアルルーズお団子ヘアのプロセスを覚え美しく仕上げる
2	編み込みサイドシニヨン	編み込みサイドシニヨンのプロセスを覚え美しく仕上げる
3	編みおろし	編みおろしのプロセスを覚え美しく仕上げる
4	ルーズアップ	ルーズアップのプロセスを覚え美しく仕上げる
5	編み込みルーズアップ	編み込みルーズアップのプロセスを覚え美しく仕上げる
6	かぶせ後ろチラシ	かぶせ後ろチラシのプロセスを覚え美しく仕上げる
7	かぶせ後ろチラシ25分	定期試験練習後、定期試験
8	ローポニー	ローポニーのプロセスを覚え美しく仕上げる
9	ウィッグ風ポニー	ウィッグ風ポニーのプロセスを覚え美しく仕上げる
10	分け目盛り巻き下ろし	分け目盛りのプロセスを覚え美しく仕上げる
11	カールツインテール	カールツインテールのプロセスを覚え美しく仕上げる
12	チラシカールハーフ	チラシカールハーフのプロセスを覚え美しく仕上げる
13	フィンガーウエーブ	フィンガーウエーブのプロセスを覚え美しく仕上げる
14	ストレートサイドダウン	ストレートサイドダウンのプロセスを覚え美しく仕上げる
15	ストレートサイドダウン25分	定期試験練習後、定期試験

科目名 (英)	プロフェッショナルへの道Ⅳ Career Development	年次	2	実務経験	担当	仁藤都
		授業形態	講義			
		時間数	30	有	開講区分	
学科・コース	ヘアメイク科	単位	2		曜日・時間	1組(火1限)2組(火2限)3組(火4限)
講師紹介	美容業界に従事してきた講師が、就職活動に向けコミュニケーションスキルや社会人に必要な知識を習得する授業を行う。自身が身に付けた美容業界で必要とされるための知識・コミュニケーション力の発揮の仕方などをお伝えします。					
目的 科目概要	目的:グループワークや個人ワークでの自己分析、チームで働くことの大切さを学び社会人基礎力に必要な3つの能力【前に踏み出す力】【考え抜く力】【チームで働く力】を身に付ける。					
到達目標	①自己発見を行い、希望就職先へ内定できるようになる。 ②笑顔であいさつができるようになり、接客に必要な身構え・気構え・心構えを身につける。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 □ 実技試験 □ 作品					
教科書						事前事後 学習と その内容
教材	スケジュール帳・筆記用具					
特記事項						

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	他己紹介	後期のクラスがもっとよくなるように【言葉の花束】をつくり自己肯定感を高める。
2	社会人基礎力	グループディスカッションで社会人基礎力【考える力】でマナーを身につける。 【テーマ】ネガティブな言葉をポジティブに変換してみよう
3	社会人基礎力	社会人基礎力【考える力】を身につける。【テーマ】きれいな文字を書こう 参考:ペン字練習帳 お礼状を書こう
4	社会人基礎力	社会人基礎力【考え、伝える力】を身につける【テーマ】人前で報告する。例:ぶれずにきれいに写せるカメラができた。操作が簡単でシンプルで高性能のため、高齢者に喜ばれている。
5	社会人基礎力	社会人基礎力【考える力】を身につける。 【テーマ】仕事をやめないためには何が必要か
6	中間テスト	社会人基礎力【考える力】を身につける。 【テーマ】後悔のない人生を送る為にはどうすればいいか 800文字にまとめる。
7	社会人基礎力	グループディスカッションで社会人基礎力【考える力】を身につける。 【テーマ】転職について考える。
8	社会人基礎力	グループディスカッションで社会人基礎力【考える力】を身につける。 【テーマ】一生美容業界で働くために必要なスキルや心構えを考える。個人で考え、社会にでて活かしていけるようにまとめる。
9	社会人基礎力	グループディスカッションで社会人基礎力【考える力】を身につける。 【テーマ】クラス全員で敬語で話し、間違った敬語は教えてあげよう
10	社会人基礎力	グループディスカッションで社会人基礎力【考える力】でマナーを身につける。 【テーマ】上座・下座について考えてみよう【会議室・タクシー・飛行機・電車】
11	社会人基礎力	グループディスカッションで社会人基礎力【考える力】でマナーを身につける。 【テーマ】名刺の交換について考えてみよう
12	社会人基礎力	グループディスカッションで社会人基礎力【考える力】でマナーを身につける。 【テーマ】感じのいい電話対応について考える
13	社会人基礎力	想定した顧客のニーズを満たせる賞品を話し合い、売るという軸からブレない力を身に付ける。 例)鉛筆を3万円で売るにはどうしますか
14	定期試験	社会人基礎力【考える力】を身につける。 【テーマ】社会人として、美容師としてどのように過ごしていくかを自分なりに考え400文字以内にまとめる
15	定期試験振り返り	14回で考えたことを全体で共有する。5年後、10年後のビジョンについて考える

科目名 (英)	ビューティ技術論Ⅳ Beauty technical Ⅳ	年次	2	実務経験	担当	小泉哲郎
		授業形態	講義			
		時間数	30			
学科・コース	ヘアメイク科	単位	2	開講区分	前期	
				曜日・時間	4月～8月	
講師紹介	ヘアメイクアップアーティストとして様々な現場に携わってきました。これまでの経験から皆さんの作品作りに役立つと思われる知識、技術をお伝えします。					
目的 科目概要	目的:仕事の現場で必要とされるアイデア力、コミュニケーション能力を学ぶ。 概要:この科目では卒業制作に向けてチームの中で様々な意見を出し合い、各々のテーマに沿った作品を創りあげ今後の職業人生活により良い影響を与える授業にする。					
到達目標	授業で学んだ技術、知識を応用することができる。 他者と一つの目的に向けて自分の意見を出し合う事ができる。 集団の中で自分の役割を認識し、達成に向けて各々が能力を発揮する事ができる。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 <input type="checkbox"/> 筆記試験 <input type="checkbox"/> 実技試験 <input checked="" type="checkbox"/> 作品					
教科書						
教材	適宜紹介する。	事前事後 学習と その内容	テーマに沿ったヘアメイクを創るので普段から様々な雑誌や映画などを観てアイデアの収集に努めて下さい。			
特記事項	作品創りに必要な資料及び材料は授業に持ってきて頂いて構いません。					

授 業 計 画

回数	授業テーマ	
1	チームテーマ議論	チームのテーマを決める。及び役割分担や今後のスケジュールを確認する。
2	デザイン制作	昨年度のショーなどを振り返り、新しいデザインを模索する。
3	デザイン制作2	チーム内での意見交換を行い、デザインの精査を行う。
4	デザイン決定	デザインを決定し、衣装や小物などの服飾品のイメージを考える。
5	ヘアメイク練習	デザインに沿ったヘアメイクをし、改善点を考える。
6	ヘアメイク練習2	改善点を元にデザインのブラッシュアップを行う。衣装などの制作も行う。
7	撮影およびチーム内発表	全体の最終的なチェックをしていく。舞台での動き方や音響、照明とのすり合わせを行う。
8	定期試験	定期試験
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

科目名 (英)	スチールヘアメイクⅡ Still Hair MakeⅡ	年次	2	実務経験	担当	松尾友湖/大内季奈
		授業形態	演習			
		時間数	60	有	開講区分	
学科・コース	ヘアメイク科	単位	4		曜日・時間	1組(水3・4限)2組(月1・2限)3組(金1・2限)
講師紹介	ゴールドシップ所属。教員としても長いキャリアを持つ為、分かりやすくレクチャーするので積極的に学んでほしい。					
目的 科目概要	年代別の歴史やトレンドを学び、テーマ合わせたファッションやヘアメイクのリバイバルについて考える。					
到達目標	各時代背景とファッションやヘアメイクとの関連性を理解したうえで、テーマごとにオリジナリティを加える。 また、チームによる制作を経験し、撮影を伴う現場での動きを習得する。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 □ 実技試験 □ 作品					
教科書			事前事後 学習と その内容			
教材	プリント配布					
特記事項	なし					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	Paris Collection	コレクションの歴史や撮影について
2	春夏Paris Collection	春夏コレクションをテーマに、好きなブランドのメイクを模写
3	秋冬Paris Collection	秋冬コレクションをテーマに好きなブランドのメイクを模写
4	Paris Collection	コレクションをテーマに、年代やブランド問わず、コンセプト及びリバイバルさせたデザインを考案
5	Paris Collection	考案したコンセプト、リバイバルさせたデザインを元にヘアメイク実習
6	Paris Collection	デザインのブラッシュアップを図り、ヘアメイク実習
7	中間試験対策	ポージングやカット割りを組み立て、撮影イメージのシュミレーション
8	中間試験	フォトグラファーによる作品撮り
9	プレゼンテーション	コンセプトシートとともに撮影した作品を提示し、チームごとに発表
10	成人式	モデルの選んだ着物に合わせてヘアメイクを考案 モデルの持つイメージかつ黄金比、着物の色相など諸々を考慮し、ヘアメイク実習
11	NEO JAPANESQUE	新しい日本らしさ(雰囲気)をテーマに、デザインを考案
12	NEO JAPANESQUE	考案したデザインを元にヘアメイク実習
13	NEO JAPANESQUE	デザインのブラッシュアップを図り、ヘアメイク実習
14	定期試験対策	ポージングやカット割りを組み立て、撮影イメージのシュミレーション
15	定期試験	フォトグラファーによる作品撮り

科目名 (英)	グローバルサービス Global Services	年次	2	実務経験	担当	ノヴァ
		授業形態	演習			
学科・コース	ヘアメイク科	時間数	30	開講区分	後期	
		単位	2		曜日・時間	1組(火2限)2組(火1限)・3組(火3限)
講師紹介	語学教育の経験があり、様々な学校の学生様から企業様まで幅広い世代に語学を教えております。生徒の皆さんが語学や文化に興味を持ってくれるような授業を展開していきます。					
目的 科目概要	英語: 海外モデルとのコミュニケーションをとる事ができ、メイクスキルに必要な英語での表現を習得する 韓国語: 言語を通して異文化理解に努め、韓国語で挨拶や身の回りの言葉を話せるようになる					
到達目標	言語を通して異文化について興味関心を持ち、今後のキャリアへとつなげる					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 □ 実技試験 □ 作品					
教科書	English for Beauticians	事前事後 学習と その内容	自宅で予習・復習を行うこと。			
教材						
特記事項	教科書、ノート、筆記用具を持参し、配布されたプリントはファイルに取っておくこと。先生が板書した内容を丁寧にノートに取ること。積極的に授業に参加してください。					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	Unit 1 挨拶/自己紹介	自己紹介・仕事を紹介する表現を学ぶ 自己紹介が出来るようになる 自身の仕事について紹介出来るようになる
2	Unit 2 電話対応	電話予約の表現を学ぶ 電話で予約を承ることが出来るようになる
3	Unit 3 飛び込み客	飛び込み客への対応の表現を学ぶ 飛び込み客の対応が出来るようになる
4	Unit 4 お客様への質問	丁寧な質問の仕方を学ぶ お客様に失礼のない質問が出来るようになる
5	Unit 5 道案内	道案内の表現を学ぶ サロンまでの道案内が出来るようになる
6	Unit 6 会計	会計の表現を学ぶ 会計をすることが出来るようになる
7	中間試験	中間試験
8	【韓国語】 ハングルを理解しよう	ハングルを使って自分の名前を書けるようになる 身の回りのハングルを読めるようになる
9	【韓国語】 挨拶/自己紹介	自己紹介・仕事を紹介する表現を学ぶ 自己紹介が出来るようになる 自身の仕事について紹介出来るようになる
10	【韓国語】 日常会話で使えるフレーズ	普段使える簡単なフレーズを学ぶ 簡単な意思疎通をとれるようになる
11	【韓国語】 流行しているヘアメイク	韓国コスメや流行のヘアメイクについて学ぶ
12	【韓国語】 コミュニケーションをとろう	学んだフレーズを使ってコミュニケーションを取る 韓国人のお客様と簡単な会話ができる
13	Unit 8 施術中	会話を続ける方法を学ぶ お客様と雑談出来るようになる
14	復習	定期テストに向けて復習を行う
15	定期試験	定期試験

科目名 (英)	特殊メイクⅡ Special Effect Make up Ⅱ	年次	2	実務経験	担当	大和田一樹
		授業形態	演習			
		時間数	60	有	開講区分	
学科・コース	ヘアメイク科	単位	4		曜日・時間	1組(火2.3限)2組(水1.2限)3組(火1.2限)
講師紹介	メイクアップアーティストとしてスチール、ショーのメイクアップ、またメイクアップディレクターとして化粧品の開発・プロデュース・メイクセミナーの講師、自らTV出演など化粧品とメイクアップに関する様々な業務を歴任してきました。ここではヘアメイクに必要な特殊メイクに関する専門的な技術を習得する授業を行います。					
目的 科目概要	目的:ヘアメイクとして幅広いメイクアップの表現力を身につける。 科目概要:TV・映画で必要な特殊なメイクを学ぶ、クリエイティブなメイク表現を学ぶ。					
到達目標	TV・映画で必要な特殊なメイクを習得できる。、クリエイティブなメイク表現を理解することができる。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 <input type="checkbox"/> 筆記試験 <input checked="" type="checkbox"/> 実技試験 <input type="checkbox"/> 作品					
教科書	適宜参考画像など資料用意します。		事前事後 学習と その内容	前もって参考になる画像などをリサーチしておくこと。手順が特殊なので何度か実践いつでも再現できるようにしておくこと。		
教材	メイク教材と学校準備の共有教材					
特記事項	手順が特殊なのでしっかりとメモを取ること。					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	フェイクメイク①	【パズルメイク】顔にバランス良くジグソーパズルのピースを描く
2	フェイクメイク②	【ハーフ&ハーフメイク】顔に男女の横顔を描き分ける
3	フェイクメイク③	【アメコミメイク】アメコミ風の顔に見えるメイク方法
4	フェイクメイク④	【ズレメイク】顔がずれて見えるメイクパターン①
5	フェイクメイク⑤	【ズレメイク】顔がずれて見えるメイクパターン②
6	フェイクメイク⑥	【ズレメイク】顔がずれて見えるメイクパターン③
7	中間試験	【ズレメイク】顔がずれて見えるメイクパターン③を時間内に仕上げる(20点)
8	舞台メイク①	【キャッツメイク】デザイン・ライン・グラデーション・左右対称にこだわって作る
9	舞台メイク②	【宝塚男役メイク】舞台独特の大きな表現を学ぶ
10	舞台メイク③	【宝塚女役メイク】舞台独特の大きな表現を学ぶ
11	舞台メイク④	【メディーサメイク】舞台独特の大きな表現を学ぶ
12	伝統化粧	【舞妓さんメイク】美しい白塗りと伝統の和の表現を学ぶ
13	フェイクメイク⑦	【デカパーツメイク】眉・目・唇を限りなく大きく仕上げる
14	フェイクメイク⑧	【スカルメイク】骨格に合わせて巧みに頭蓋骨を表現
15	定期試験	【スカルメイク】を限られた時間内で仕上げる(50点)

科目名 (英)	美容総合技術 Beauty Practice	年次	2	実務経験	担当	吉野世二 大内悠己
		授業形態	演習			
		時間数	60	有	開講区分	
学科・コース	ヘアメイク	単位	2		曜日・時間	1組(月3.4限)2組(火3.4限)3組(月1.2限)
講師紹介	代官山AWディレクター。ロンドン留学での美容経験やアーティスト、有名デザイナーのヘアメイク、ブライダルヘアなど様々な経験を元にサロンワークの可能性や楽しさを伝えたい					
目的 科目概要	目的:シャンプーブロー、スタイリング、アップスタイルの基本的技術の習得。 概要:基礎技術に加え、髪に触ることに慣れ、カットデザインとヘアメイクの連動性からデザインの繋がり、面白さを学び、生徒自身の可能性を広げたい					
到達目標	様々な視点から物事が見られる。ゲストに求められる技術を提供でき、コミュニケーションが取れる。生徒自身がそれぞれイメージを固め、具現化できるようになる。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 ■ 実技試験 □ 作品					
教科書			事前事後 学習と その内容			
教材						
特記事項						

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	オリエンテーション・技術展示	授業の趣旨を把握する。シャンプーの目的手順を理解する
2	シャンプーブロー実習	相モデルでのシャンプーブロー実習
3	シャンプーブロー実習	相モデルでのシャンプーブロー実習
4	シャンプー、ブロー、アイロン、スタイリング実習	相モデルでのシャンプー、ブロー、アイロン、スタイリング実習
5	シャンプー、ブロー、アイロン、スタイリング実習	相モデルでのシャンプー、ブロー、アイロン、スタイリング実習
6	シャンプー、ブロー、アイロン、スタイリング実習	相モデルでのシャンプー、ブロー、アイロン、スタイリング実習
7	中間テスト	相モデルでのシャンプー、ブロー、アイロン、スタイリング実技試験
8	基礎的カットスタイリング実習	ウィッグを使い、実際に髪を切りカットによるデザインの変化を学ぶ
9	イメージ別カットスタイリング実習	生徒それぞれが自由にイメージを考えカットしスタイルを作る。授業の最後に簡単なプレゼンを行う
10	基本的アップスタイリング実習	基本的なアップスタイルから、編み込み、崩し、柔らかさの表現方法など
11	イメージ別アップスタイリング実習	生徒それぞれが自由にイメージを考え作品を作る。授業の最後に簡単なプレゼンを行う
12	撮影実習	ヘアデザインを写真に落とし込む際のテクニックを学び、作った作品を使い撮影実習
13	イメージワーク	作品制作に向け、テーマにそったイメージを考えデッサンに起こす
14	作品制作	ウィッグをつかいテーマにそった作品を制作する
15	プレゼンテーション(期末テスト)	作品のプレゼンテーションを行う

科目名 (英)	ヘアメイクⅢ	年次	2	実務経験	担当	足立裕季
		授業形態	演習			
		時間数	30	有	開講区分	
学科・コース	ヘアメイク科	単位	30		曜日・時間	1組(木1・2限)2組(木3・4限)3組(水3・4限)
講師紹介	雑誌、広告媒体の仕事を多くこなす現役ヘアメイクアップアーティストによる現場実践型の授業を行います。					
目的 科目概要	アドバンススキルを習得し、幅広いジャンルのヘアセットや現場に対応出来るようになる。					
到達目標	逆毛の使い分けによって様々な質感のヘアセットが出来るようになる。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 <input type="checkbox"/> 筆記試験 <input checked="" type="checkbox"/> 実技試験 <input type="checkbox"/> 作品					
教科書	なし	事前事後 学習と その内容	授業時は必ずメモをとり、必ず復習をすること。			
教材	ヘア道具一式					
特記事項	授業時はエプロンを着用のこと					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	カールモヒカンアップ	カールモヒカンのプロセスを修得する
2	カールモヒカンアップ	カールモヒカンを美しく仕上げられるようになる
3	ストレートアップ	ストレートアップのプロセスを修得する
4	ストレートアップ	ストレートアップを美しく作れるようになる
5	カールサイドハーフ	カールモサイドのプロセスを修得する
6	カールサイドハーフ	カールサイドハーフを美しく作れるようになる
7	定期試験カールサイドハーフ25分	定期試験練習後、定期試験
8	日本髪	日本髪のプロセスを修得する
9	日本髪	日本髪を美しく作れる様になる
10	和装シニヨン	和装シニヨンのプロセスを修得する
11	和装シニヨン	和装シニヨンを美しく作れる様になる
12	下張り和装	下針和装のプロセスを修得する
13	下張り和装	下張り和装を美しく作れる様になる
14	下張り和装	定期試験に向けてタイムアップ
15	定期試験下張り和装30分	定期試験練習後、定期試験

科目名 (英)	デザインヘアメイク	年次	2	実務経験	担当	福間千里・藤井明花
		授業形態	演習			
		時間数	60	有	開講区分	
学科・コース	ヘアメイク科	単位	4		曜日・時間	1組(金曜1・2限)2組(金曜3・4限)3組(月曜3・4限)
講師紹介	ヘアメイクの他にエアブラシを得意とし、ボディペイントも手がける。様々な現場を経験し現在はフリーとして活躍。専門的な知識・技術を習得する授業を行う。実習がメインとなる授業の為、ひとつひとつの授業を大切に復習をしっかり行い授業に臨んで欲しい。					
目的 科目概要	エアブラシのテクニックを習得し、基礎技術を活かした様々なアートに応用できるよう学ぶ。					
到達目標	エアブラシの特質を理解し自らの発想でデザインを作れるようになる。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 ■ 実技試験 □ 作品					
教科書	資料あり	事前事後 学習と その内容	実習後、次の授業までに復習をし、より確実に身につけることが望ましい。			
教材	エアブラシー式、ヘアメイク道具一式					
特記事項						

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	エアブラシとは	基本的な道具の扱い、構造、仕組み ペーパーを使ったエアブラシ基礎技術
2	カラーミックスの方法	ベースメイクの基礎技術
3	ステンシルを使ったテクニック①	ステンシルとは ステンシルの作り方、使い方
4	ステンシルを使ったテクニック②	フェイクタトゥ
5	ボディジュエリー①	ボディジュエリーとは 基礎技術
6	ボディジュエリー②	ボディペイント
7	中間試験	実技・筆記テスト
8	デザインアイメイク	カットクリース
9	デザインアイラッシュ	アイラッシュカスタム
10	デザインメイク	グリッターメイク
11	デザインメイク	ギャラクシーメイク
12	試験対策	試験課題発表。デッサンシート作成
13	試験対策	デッサンシートに基づき、実践練習を行う。改善点を見つけ、ブラッシュアップさせる。
14	期末試験Aチーム	作品を完成させ、校内でスマホで作品撮りを行う。
15	期末試験Bチーム	作品を完成させ、校内でスマホで作品撮りを行う。

科目名 (英)	パーソナルカラー Personal Color	年次	2	実務経験	担当	宮崎純子・堀川彩里
		授業形態	演習			
		時間数	30			
学科・コース	ヘアメイク科	単位	2	開講区分	後期	
曜日・時間	1組(水1・2限) 2組(水3・4限) 3組(木1・2限)					
講師紹介	色彩活用パーソナルカラー検定講師として検定対策を行っております。「人」に使える色(似合う色・コーディネート)について、色の効果を体感して楽しみながら学べるようにお伝えします。皆さんで合格を目指しましょう。					
目的 科目概要	目的: 似合う色を身につける事で、よりよく自己を印象づける「自分ブランディング」ができるようになるポイントを学ぶ。 概要: パーソナルカラーの探し方や取り入れ方の基礎、そのもとになる色彩学の基礎を習得する。自分自身の似合う色を実習の中で学んでいく。					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 色彩の基礎知識およびパーソナルカラーの基礎知識の習得を目指す 自分には客観的にどのような色が似合うかを学び、「自分ブランディング」ができるようになる事で自分に自信を持ち、自己表現の幅を広げる 色彩活用パーソナルカラー検定3級(2022年度冬季)合格を目指す 					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 <input checked="" type="checkbox"/> 筆記試験 <input type="checkbox"/> 実技試験 <input checked="" type="checkbox"/> 作品					
教科書	色彩活用パーソナルカラー検定3級 公式テキスト・問題集		事前事後 学習と その内容	授業の進行に合わせて、課題の予習・復習、問題集、プリントの課題を実施する。		
教材	新配色カード199b、トーンマップ					
特記事項	演習(色素チェック・ドレーピング)において、メイク・カラーコンタクト NGの回があります。はさみ、のり、筆記用具も持参してください。					

授業計画

回数	授業テーマ	授業内容
1	オリエンテーション(パーソナルカラー概要) 色彩の基本①(色の三属性、トーン) トーン一覧CW①	<ul style="list-style-type: none"> パーソナルカラーの意味と必要性、判断の裏付けとなるモノの大枠を学ぶ 色彩の基本である、色の三属性(色相・明度・彩度)を理解する トーンの考え方や仕組みを理解する 「色の三属性」を使って、色を表現(伝えられる)ようにする、トーン一覧CWについて理解する
2	色彩の基本②(トーンとイメージ) トーン一覧CW② パーソナルカラーの基本 パーソナルカラーの4シーズンのカラーパレット	<ul style="list-style-type: none"> トーンとイメージ(言葉)の関わりを学び、色の表現力を養う、トーン一覧CW完成 パーソナルカラーでの色の三属性の捉え方を理解する パーソナルカラーの4つのパレットについて、色の特徴とイメージを理解する、カラーパレット作成
3	似合う色の基準となる色素について コラージュ作成①	<ul style="list-style-type: none"> 色素(髪・眼・肌)の特徴を知りそこから4シーズンの代表的な色素傾向を知る PIIについて理解する 自分の色素を知ることで、自分に似合う色の傾向を理解する。自分色素カルテ作成 コラージュ作成のポイントを知る、コラージュ作成
4	中間試験 ドレーピング手法と実習 コラージュ作成②	<ul style="list-style-type: none"> 中間試験 似合う色の見え方と似合わない色の見え方を知る。似合う色を”三属性の得意な要素”で答えられる。 ドレープを使って、色による顔色の変化(顔映り)を体感する。自分の色素(どんな髪、眼、肌だから)と似合う色(こんな色が似合う)のつながりをまとめることができる。 コラージュ作成
5	ドレーピング診断結果のまとめ、似合う色の取り入れ方 色が見える仕組み、光と色 反射と吸収	<ul style="list-style-type: none"> 4シーズンそれぞれに似合う色、柄、素材、メタリック、メイクカラーを理解する ドレーピング実習および、自分に似合う色の取り入れ方を理解する 色彩学の反射・吸収が、パーソナルカラーの顔映りにどの様に関わるのか理解する
6	パーソナルカラーと対比 コラージュ作成(完成)	<ul style="list-style-type: none"> 色相対比、明度対比、彩度対比の違いを理解する。パーソナルカラーと対比の関わりを理解する。 コラージュを完成させる(終わらなかった人は宿題とし、最終授業で提出)
7	検定対策 定期試験	<ul style="list-style-type: none"> これまでに学んだ内容について、検定出題傾向に基づき要点を復習する 過去問題を例に、出題形式や出題傾向に慣れる 定期試験の実施 コラージュ提出